

緑ヶ丘



健やかな心と身体を拠り所にした確かな学びの育成

学校教育目標

『大地に根ざし
未来を拓く
人間の育成』
「進んで考え、伝え合う子」
「やさしい心で、支え合う子」
「心も体も、元気な子」

学校だよりNo.8 令和3年10月11日発行

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果の概要と今後の取組について

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力をいただきまして感謝申し上げます。

さて、6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」が5月27日（木）に実施され、9月上旬にお子様を通じて結果の個人票を配付いたしました。以下に本校の児童の傾向と概要を示します。

この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証してその改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること、さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的としております。本校でもその目的をしっかりとおさえ、確かな学力の定着や指導方法の工夫・改善に力を入れて今後も取り組んで参ります。なお、今回の調査結果は、学力全体を特定するものではなく、学校における教育活動の一側面であることを申し添えます。

【国語】「国語」全体としての結果は、全道・全国と「同様である」という結果でした。

＜領域別＞

- ◇話すこと・聞くこと → 全道より「やや低い」、全国より「やや低い」
- ◇書くこと → 全道と「同様」、全国より「やや低い」
- ◇読むこと → 全道と「同様」、全国より「やや低い」

— 緑ヶ丘小 — 北海道平均 — 全国平均

＜成果と課題＞

◎「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」という設問の正答率は全道・全国と比較し「高い」です。

▼「目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」という設問に課題がみられました。

【つまづきが見られた設問】 ↓

※左のげんこう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらようで行を変えないで、続けて書きましょう。

100字

100字

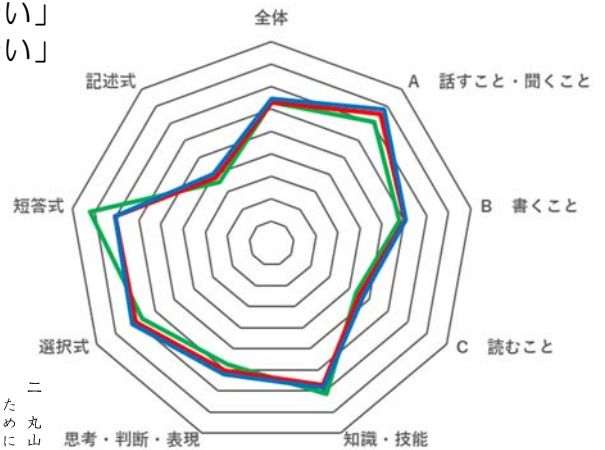
- （条件）
- 「そうじたん当の人などがかたづけられよい」という考えに反対する意見と、その理由を書きこと。
 - 「西田さんの話」から言葉や文を取り上げて書きこと。
 - 六十文字以上、百字以内で書きこと。

「西田さんの話」（遊具置き場のそうじ担当）

毎日、そうじ担当が協力して遊具をかたづけています。でも、そのために時間が足りなくなってしまう、はきそうじやふきそうじまで手が回らなくなることもあります。そんなときは、きれいにそうじができなくて困ります。



西田さん



二 丸山さんは、部「そうじたん当の人などがかたづけられよい」と考える人を説得するために、「西田さんの話」を用いて「文章の下書き」の……部をくわしく書き直そうとしています。あとの条件に合わせて書きましょう。

＜今後の指導や改善策＞

- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して「書く」等の指導が必要である。
- 文章の読み、資料の読み取り、理科の実験観察の結果などから「自分の考え」を記述する指導が必要である。
- 文章を要約する等、条件付きや字数を制限した中での記述活動の指導が必要である。

算数

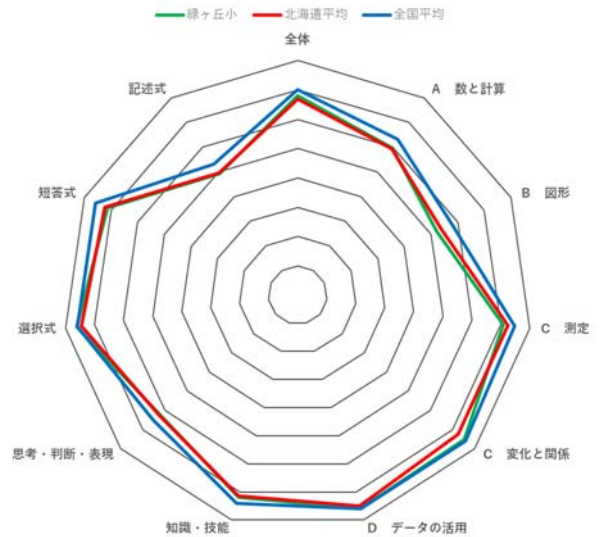
「算数」全体としての結果は、全道・全国と「同様である」という結果でした。

<領域別>

- ◇数と計算 →全道と「同様」、全国より「やや低い」
- ◇図形 →全道と「同様」、全国より「やや低い」
- ◇測定 →全道と「同様」、全国より「やや低い」
- ◇変化と関係 →全道・全国と「同様」
- ◇データの活用 →全道・全国と「同様」

<成果と課題>

- ◎「棒グラフから、数量を読み取る」「帯グラフであらわされた複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述する」という設問の正答率は全道・全国と比較し「高い」です。
- ▼「直角三角形の面積を求める」「小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用して、基準量を「1」としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述する」という設問に課題がみられました。



【つまずきが見られた設問】 ↓ →

2

図1のような直角三角形があります。

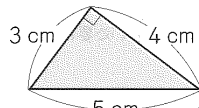


図1

- (1) 図1の直角三角形の面積は何 cm^2 ですか。
求める式と答えを書きましょう。



ゆうま

【ゆうまさんの説明】

20 m を1としたとき、0.1にあたる長さは2 mです。
14 mは、2 mの7つ分になるので、20 mを1としたときの0.7にあたります。

12 mのテープと30 mのテープもあります。
たくみさんたちは、12 mは30 mの何倍かについて考えています。



たくみ

$12 \div 30 = 0.4$ で、0.4倍です。

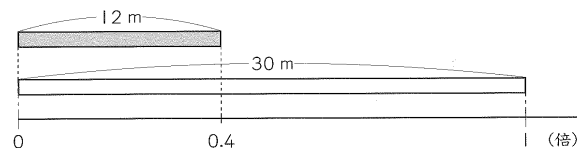


さくら

30 mを1としたとき、12 mが本当に0.4にあたるのかな。

30 mを1としたときに12 mが0.4にあたるわけを、【ゆうまさんの説明】と同じように、0.1にあたる長さがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

※ 必要ならば、下の図を使って考えてもかまいません。



<今後の指導や改善策>

- ・既習図形の面積の求め方、考え方などを復習する必要がある。
- ・小数とその計算に関わる学習を通して、ある量の何倍かを表すのに小数を用いるという指導が必要である。

児童質問紙

<肯定的な回答の割合が高かった項目>

- ◎「朝食を食べている」「同じくらいの時刻に寝ている」「同じくらいの時刻に起きている」
- ◎「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「自分でやると決めたことはやり遂げる」「難しいことでも失敗を恐れない」
- ◎「人が困っているときは、進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」「学校に行くのは楽しい」「友達と協力するのは楽しい」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」

<回答に課題が見られた項目>

- ▼「携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っている」
- ▼1日あたりのテレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマホを使ったゲーム）の時間

<今後の指導や改善策>

- ・日常の学級学年での指導や委員会、行事等における更なる指導の工夫を行い、一人一人の役割を明確化し、「達成感」を味わえるようにする。
- ・今後も認め励ます指導に努め、自己有用感をもてる指導を行う。
- ・メディアやゲームとの接し方について今後も継続的な指導が必要である。

今後も一人一人の理解の度合いやつまずきを把握し、個に応じた指導の充実に努めていきます。ご家庭でも「学年×10分+10分」以上は、集中して学習に向かわせる習慣を大切にしてください。また、メディアやゲームとの接し方に気をつけ、望ましい生活習慣も身につけさせましょう。